

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名 一般国道407号日高バイパス ひだか	事業区分 一般国道 (二次改築)	事業主体 埼玉県			
起終点 自：埼玉県日高市森戸新田 ひだかしもりとしんでん 起：埼玉県日高市高萩 ひだかしたかほぎ	延長 1.9 km				
事業概要 一般国道407号日高バイパスは県西部に位置し、日高市内を南北に結ぶ延長約1.9kmの道路であり、本県の広域的ネットワークを形成するうえで不可欠な路線である。407号現道の日高市内の渋滞の緩和を図るとともに、圏央道へのアクセス性の向上にも寄与することが期待され、周辺地域をはじめとする、県西部の産業、経済活動の活性化についても効果が期待されている。					
S63年度事業化	S53年度都市計画決定	H63年度用地着手			
全体事業費 125億円		事業進捗率 91.2%			
計画交通量 17,400台/日		供用済延長 1.2km			
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"> B/C (未完成区間全体) 5.8 (残事業) 48 </td> <td style="width: 40%;"> 総費用 (残事業)/(未完成区間全体) 7.9 / 65億円 (事業費: 7.2 / 65億円 維持管理費: 0.73 / 0.73億円) </td> <td style="width: 30%;"> 総便益 (残事業)/(未完成区間全体) 382 / 382 億円 (走行時間短縮便益: 442 / 442億円 走行経費減少便益: -28 / -28億円 交通事故減少便益: -13 / -13億円) </td> </tr> </table>	B/C (未完成区間全体) 5.8 (残事業) 48	総費用 (残事業)/(未完成区間全体) 7.9 / 65億円 (事業費: 7.2 / 65億円 維持管理費: 0.73 / 0.73億円)	総便益 (残事業)/(未完成区間全体) 382 / 382 億円 (走行時間短縮便益: 442 / 442億円 走行経費減少便益: -28 / -28億円 交通事故減少便益: -13 / -13億円)	基準年 平成19年
B/C (未完成区間全体) 5.8 (残事業) 48	総費用 (残事業)/(未完成区間全体) 7.9 / 65億円 (事業費: 7.2 / 65億円 維持管理費: 0.73 / 0.73億円)	総便益 (残事業)/(未完成区間全体) 382 / 382 億円 (走行時間短縮便益: 442 / 442億円 走行経費減少便益: -28 / -28億円 交通事故減少便益: -13 / -13億円)			
事業の効果等 ・バイパスの整備により交通が分散され、現道の交通の円滑化が図られる。 ・現道の渋滞が緩和されることで、現道の沿道環境の改善が図られる。					
関係する地方公共団体等の意見 ・407号現道が主要地方道川越日高線と交差する高萩交差点は、日高市内の主要な渋滞ポイントであり慢性的な渋滞が発生している。このため、地元自治体からは本バイパスの整備により、交通の円滑化が図られるものと期待されている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・高萩交差点の並行区間のバイパスが開通していないため、渋滞状況は依然として解消していない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・現在までに、起点側400m、終点側800mを供用している。残る、未供用区間についても、用地買収は完了しており、順次、工事を行っている。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・平成22年の供用目途に向け、事業を進めている。					
施設の構造や工法の変更等 再生材の利用や二次製品の使用等、コスト削減を図っている。					
対応方針 対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考える。					
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。